

1 県政一般

	タイトル	意見等
1	未来に引き継げる徳島	○未来に引き継げる徳島とは、県民一人一人が「生まれて良かった！美しいふるさと とくしま」、「住んで暮らして良かった！美しいふるさと とくしま」、「自然が溢れる住み良い美しいふるさと とくしま」、「ずっと居たい！人情豊かな美しいふるさと とくしま」、「人に誇れる美しいふるさと とくしま」、「人に語れる美しいふるさと とくしま」、「会いに行こう！みんな行きたい！美しいふるさと とくしま」が実感できるものでなければならない。 ※県政は清く・正しくなければならない。⇒「正義」・「規律」・「秩序」を貫く ※県政は中立・公正・公平でなければならない。 ※県民一人一人が主役となる県政 県民一人一人が主人公となる県政でなければならない。 ※徳島県は「いのち輝く世界の桃源郷 とくしま」、「いのち輝く世界の理想郷 とくしま」 ⇒県民はどこにも行く必要はない（徳島県は地上の楽園・ユートピア）
2	後藤田知事の修学旅行をめぐる一連の言動に対する抗議及び説明要求	修学旅行をめぐる一連の発言、働き掛けに強く抗議します。これはもはや単発の失言ではなく、長期間にわたり特定の行先へ学校を誘導しかねない言動が繰り返されている重大な問題です。 2025年12月11日の県議会では、生徒が校長に見せた知事の動画が「修学旅行は国内ではなく韓国へ」という趣旨だったと県教育委員会が答弁しています。修学旅行先は教育的意義、安全性、費用、生徒・保護者の意向等を踏まえて各学校が主体的に決定すべき事項です。 それにもかかわらず、2026年8月24日には北海道への修学旅行について「クマが出たら終わり」と述べ、海外へ行く高校との間に「差が出る」「選択で淘汰される」とまで発言しました。しかも徳島県自身が北海道側に対し、修学旅行でクマに遭遇した事実も遭遇の可能性がある行程を組んだ事実もなかったと説明しています。十分な事実確認なしに危険性を強調したのであれば県政の最高責任者として極めて不適切です。 さらに北海道知事から正式に「看過できない」と遺憾の意を示されたにもかかわらず、知事は発言を撤回・謝罪せず、「注意してほしい趣旨だった」との説明にとどまっています。しかし、「差が出る」「淘汰される」との発言や従前から繰り返されてきた韓国への働き掛けとの整合性について十分な説明がなされたとは到底言えません。 一連の言動は、教育の自主性・公平性への配慮を著しく欠き、徳島県知事としての資質・適格性に重大な疑義を抱かせるものです。韓国を繰り返し推奨する理由、航空政策との関係、クマ発言の客観的根拠、「淘汰」の真意を明らかにし、必要な発言の撤回・謝罪と今後学校の自主的判断に不当な影響を及ぼさないことを明言するよう強く求めます。

1 県政一般

	タイトル	意見等
3	県の発信情報には発信日付を明記してください	9月7日のHP「新着情報」に 2026年9月7日 知事部局における服務上の措置の実施状況について（行財政改革）という項目が掲載されている。クリックすると 日付の記載が無い同じタイトルが記述され 知事部局における服務上の措置の状況は、以下のとおりです。との本文がある。 その下に実施状況（R8.8）というPDF型ファイルが天応されている。その添付ファイルを開くと 8月7日付の「口頭注意」処分内容が記載されている。 8月7日の処分は 言及になった当事者に関するものは直ちに公開されていたが この上司に対する処分は なぜ1か月遅れなのか？ また実際の処分日とHPへの公開日が異なるので それぞれのアクション日付を記載するのべきだろう。行政文書は日付のミスは許されないはずだが。透明性、信頼性さらに公平性の問題があるように感じる。 また 入札公告の訂正、中止作業が頻繁に行われているが、その中でも 一度訂正公告を掲載した案件が 日付もろとも突然抹殺されてしまって、何の説明もないものがある。そんなに簡単に公的文書を扱うことが可能なのか？ 公的文書の信頼性、透明性は欠落しているのではないか？
4	物価高騰対応臨時交付金の使途に関する意見	徳島県知事（ならびに交付金事業ご担当者）様 日頃より県政のご尽力に感謝申し上げます。 現在実施されている物価高騰対応の「プレミアム付きクーポン」施策について、税金の使途および公平性の観点から疑問を感じ、意見を送ります。 現在、エネルギー価格や食品をはじめとする物価高騰により、すべての県民が等しく生活の負担増に苦しんでいます。しかしながら、今回の食事券のような需要喚起型の施策では、以下の点で公平性に欠けると懸念しております。 ①利用できる人が限られる不公平感 情報の入手に疎い方、手続きが困難な方、あるいは時間的・経済的・健康上の理由で外食や外出ができない方には支援が一切届きません。真面目に納税している県民の中で、特定の行動ができる一部の人が恩恵を受ける仕組みは適切ではないと考えます。 ②公平かつ効果的な支援の提案 貯蓄に回ることを防ぎ地域経済を回すことが目的であれば、先着や抽選などの一部限定ではなく、「全県民へ一律で利用できる地域商品券やクーポンの配布」や、「水道料金・学校給食費などの公的費用の減免」といった、全員に確実に届く形を取るべきです。 コロナ禍時にGo To TravelやGo To Eatといった行楽補助の前例がありましたが、時間とお金に余裕のある人ばかりが利用できるあの政策に、私は納税者として大変憤っています。所得が低くても税金は徴収されるのに、そうして集められた税金で優遇されるのは所得の高い層のみという、こんなに不公平で偏った政策がまかり通るのはそもそもおかしいと感じます。税金は特定の層のレジャーや外食の補助ではなく、苦しんでいるすべての県民へ等しく届く形で使われてほしいです。今後の政策立案や交付金の活用において、ぜひ「全県民への公平性」を最優先にご検討いただけますよう、強く要望いたします。

1 県政一般

	タイトル	意見等
5	徳島県の新ホール整備計画について	今までの経緯（から歴史になりつつありますが）と現状も併せて、県民全体が情報に触れられるようにして欲しいです。そうでないと、変になってしまうと思います。今までと今とで、色んな状況がかなり変わっているためです。このことに対する他県からの関心や雑誌等で取り上げられる様子と比較すると、公からの分かりやすい情報発信が少ないように感じます。 インターネットで自ら調べてというだけでは、デジタルデバイドによる公共の福祉への制限にもなります。先日まで開催されていた石上純也氏の展覧会を見に行った際に若者が7割程いたこともあり、関心が高まっている現状に鑑みると、再度の分かりやすい情報提供が徳島県から必要だと考えます。インターネットも活用しながら、新聞、テレビ、ラジオ等と協力すれば良いのではないのでしょうか。 状況が変わるなかで、社会資源としてのホールの在り方について意見を交換する場も含めて色んな状況・状態にある県民全体に情報が行き渡るように、手立てを講じることを要望します。今までにアップされてきた資料等も活用すれば、それほど労力がかからずにとできると思います。 乱文失礼します。初めて投書します。お忙しいとは存じますが、早急な対応をお願いいたします。
6	鉄道バス	日本の鉄道技術の海外展開を促進する観点から、徳島県の阿佐海岸鉄道で実用化されているDMV（Dual Mode Vehicle：デュアル・モード・ビークル）を、今後のInnoTransなど国際的な鉄道・交通展示会に出展することを提案します。 DMVは、道路ではバスとして走行し、線路上では鉄道車両として走行できる日本独自の交通システムです。徳島県で2021年から実際の旅客営業に使用されています。 人口減少や利用者減少によって地方鉄道の維持が難しくなっている地域は、日本だけでなく欧州やアジアにも存在します。 DMVには、鉄道と道路を乗り換えなしで接続できる、既存の鉄道インフラを活用できる、鉄道だけでは採算が難しい地域での新しい交通手段になり得る、駅から先の道路交通との接続を改善できる、観光地など鉄道と道路を組み合わせた運行にも活用できるといった特徴があります。 DMVを「徳島の特殊な車両」として紹介するのではなく、人口減少地域における公共交通の一つの選択肢として、日本の実用化事例とともに世界に紹介する意義があると思います。 特にInnoTransのような国際的な鉄道見本市では、可能であれば実車を展示し、道路走行から鉄道走行へのモード切替を映像や模型等も用いて紹介することで、日本の鉄道・自動車技術の融合を分かりやすく発信できるのではないのでしょうか。 日本には、鉄道車両、信号、運行システムなどの優れた鉄道技術があります。そこにDMVという「道路と鉄道を一体化する技術」を加えることで、日本の鉄道システム輸出に新しい分野を提示できる可能性があります。 今後の国際鉄道展示会において、DMVを日本の地方交通・鉄道技術の海外展開事例として出展することを検討していただきたいと思います。返信不要です。